



2020年3月期 第1四半期 決算説明会資料

2019年8月9日

株式会社ぱど

(東京証券取引所JASDAQ 証券コード4833)

(1) 決算概要

- ✓ 営業利益は▲124百万円で着地
- ✓ 営業利益の前年同期比は117百万円の改善

(2) 今期事業方針

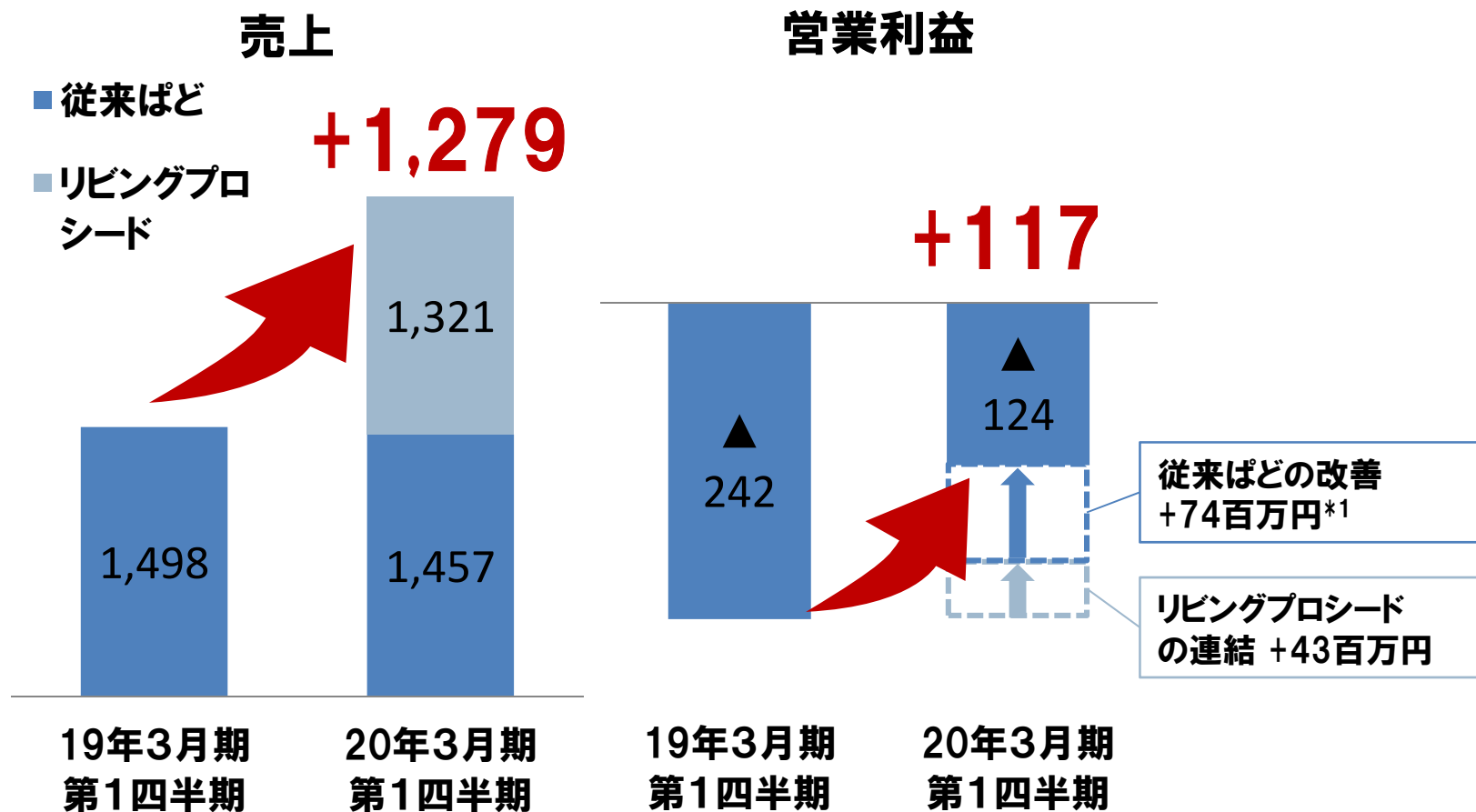
- ① 既存事業の価値向上と合理化
- ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進
- ③ 狭域サポート事業の開始

売上・営業利益推移



売上は、主にリビングプロシードの連結により+1,279百万円
営業利益は、主に従来ぱどの改善により+117百万円

(単位:百万円)



*1:リビングプロシードを含まない従来ぱどグループでの連結

連結損益計算書(要約)



第1四半期の売上高2,777百万円(前年同期比+1,279百万円)
営業利益は▲124百万円(前年同期比+117百万円)

(単位:百万円)

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-------------------------|-------------------|-------------------|-------|-------|
| 売上高 | 1,498 | 2,777 | 1,279 | 85.4% |
| 売上総利益 | 552 | 702 | 150 | 27.3% |
| 販管費 | 794 | 827 | 32 | 4.1% |
| 営業利益(損失) | ▲ 242 | ▲ 124 | 117 | - |
| 経常利益(損失) | ▲ 238 | ▲ 122 | 116 | - |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益(損失) | ▲ 239 | ▲ 129 | 109 | - |

(参考) 従来パド連結のPL推移

紙原価の高騰およびフリーペーパー事業による売上高減も、
販管費削減効果により営業利益は改善

(単位:百万円)

| | 2019年3月期 第1四半期 | 2020年3月期 第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-------|-------------------|-------------------|-------|--------|
| 売上高 | 1,498 | 1,456 | ▲ 41 | -2.8% |
| 売上原価 | 946 | 1,014 | 68 | 7.3% |
| 売上総利益 | 552 | 442 | ▲ 110 | -19.9% |
| 販管費 | 794 | 609 | ▲ 184 | - |
| 営業利益 | ▲ 242 | ▲ 167 | 74 | - |

要因① 従来ぱど連結：販管費削減

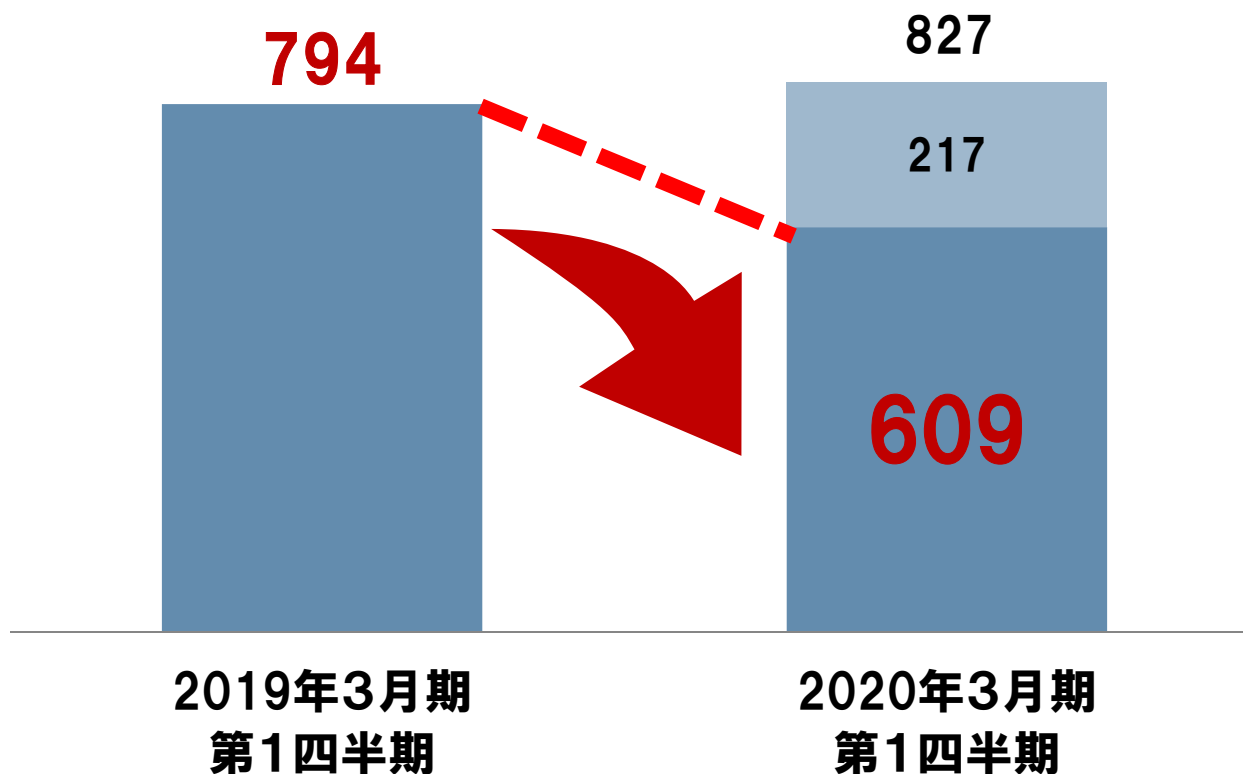


前期に行った大幅な販管費削減の効果により、フリーペーパー事業の粗利益減少をカバー

(単位:百万円)

2020年3月期
販管費推移

■ぱど ■リビングプロシード



✓ 従来ぱど販管費
(前期比)
▲184百万円

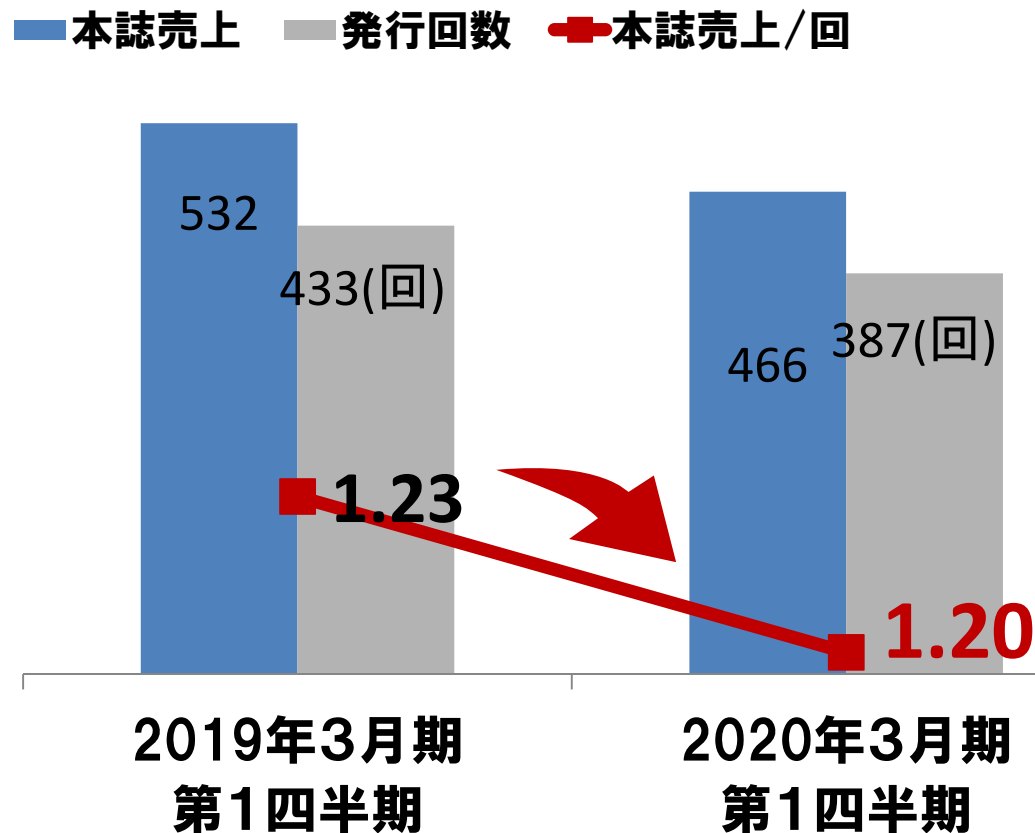
要因② ぱど単体：家庭版本誌の状況



前期に不採算エリアの再編を実施したが、想定以上の広告掲載量の減少により、発行あたり売上の改善は未達成

(単位：百万円)

家庭版本誌売上・発行数推移



- ✓ 第2四半期には家庭配布メディアの一部統合を予定
発行あたり売上改善と原価減を実施



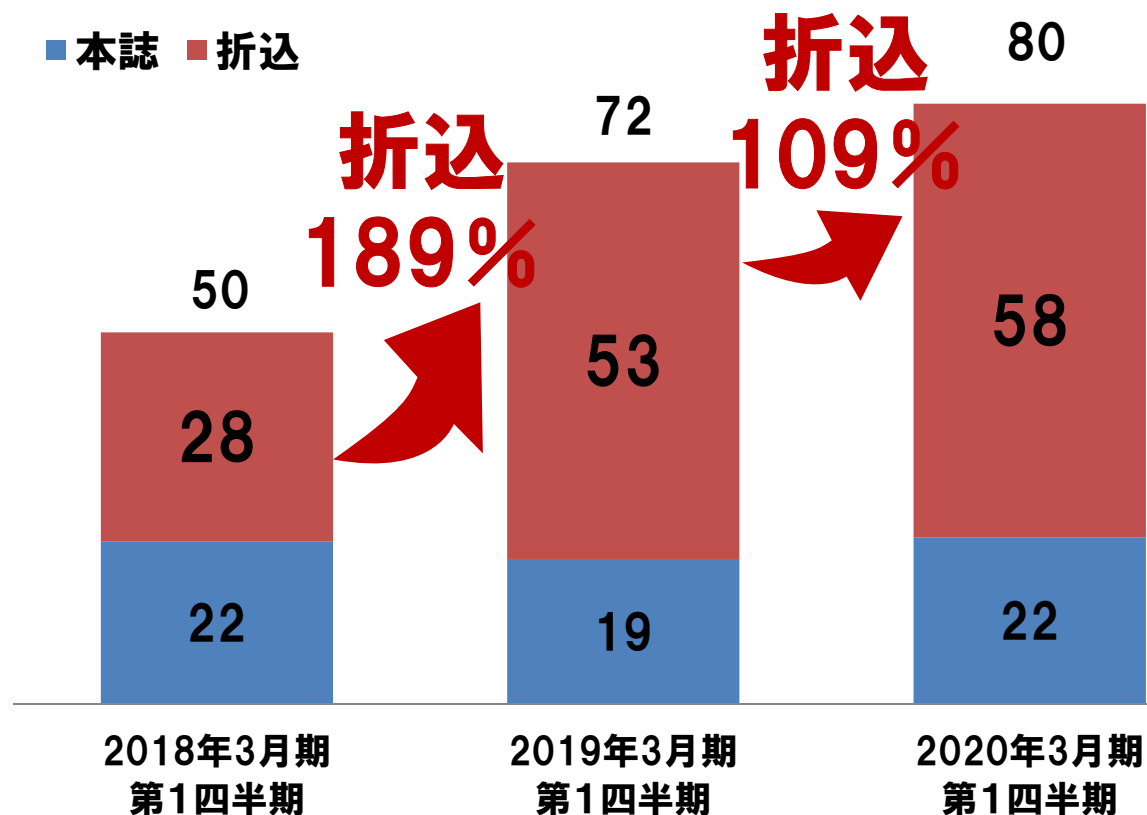
要因③ ぱど単体:アフルエント折込の状況



富裕層向けターゲットメディア「アフルエント」折込は好調に推移

(単位:百万円)

アフルエント売上高推移



✓ 第2四半期にはさらなる成長のため新商品を投入予定



連結貸借対照表(要約)



(単位:百万円)

| 資産の部 | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 第1四半期 | 増減額 |
|------------------|--------------|-----------------------|--------------|
| 流動資産 | 3,911 | 3,531 | ▲ 379 |
| (現金預金) | 1,979 | 2,061 | 82 |
| 固定資産 | 437 | 438 | 1 |
| 資産 合計 | 4,348 | 3,970 | ▲ 378 |

| 負債・ 純資産の部 | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 第1四半期 | 増減額 |
|---------------------|--------------|-----------------------|--------------|
| 流動負債 | 2,363 | 2,155 | ▲ 207 |
| 固定負債 | 234 | 195 | ▲ 39 |
| 負債合計 | 2,597 | 2,350 | ▲ 246 |
| 株主資本 | 1,690 | 1,560 | ▲ 129 |
| 純資産合計 | 1,751 | 1,619 | ▲ 132 |
| 負債純資産 合計 | 4,348 | 3,970 | ▲ 378 |

(1) 決算概要

- ✓ 営業利益は▲124百万円で着地
- ✓ 営業利益の前年同期比は117百万円の改善

(2) 今期事業方針

- ① 既存事業の価値向上と合理化
- ② 既存事業のデジタル化・会員化の促進
- ③ 狭域サポート事業の開始

(再掲) 今期事業方針

各事業方針について、第1四半期における取組状況の一部を、次ページより報告(赤字部分)

- ① **既存事業の価値向上と合理化**
 - **SMBコンサル営業(中小企業への営業代行)の拡大**
 - **リビングプロシードの経営効率化**

- ② **既存事業のデジタル化・会員化の促進**
 - **サイト会員を活用した地方創生事業の提案領域拡大**
 - **富裕層向け事業の拡大**
 - **チラシ制作・印刷・配布の一気通貫商品の展開**

- ③ **狭域サポート事業の開始**
 - **狭域副職プラットフォーム(超短時間業務マッチング)事業**
 - **狭域ロジスティクス(物流補助業務)事業**

① 既存事業の価値向上と合理化

SMBコンサル営業（中小企業への営業代行）の拡大において、ぱど掲載クーポンをスマートニュースに配信する取り組みを8月に開始

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2019年8月8日

株式会社ぱど

ぱど掲載クーポンをスマートニュースに配信開始

“ぱど”掲載クーポンを都道府県チャンネルに配信：独自施策として期間限定で RIZAP モニタープランを提供

株式会社ぱど(本社：東京都千代田区 代表取締役社長：小澤康二 以下ぱど)は、このたびスマートニュース株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役：鈴木 健、以下、スマートニュース)が提供するニュースアプリ『SmartNews』の都道府県チャンネルへ、“ぱど”掲載クーポンをスマートニュースに配信する取り組みを開始いたしました。

人・街・元気!
ぱど

×



SmartNews

同取り組みにより、ぱどが持つ全国各地のクーポン情報を、各都道府県の情報を探している方が必要なときに届けることができ、よりいっそうのユーザーの利便性向上と全国各地の店舗への送客を目指してまいります。

■取り組み図

紙面掲載*
クーポン情報を
連携**



自動的に最適な
都道府県チャ
ネルに配信



アルゴリズムに
基づき表示



※クーポン表示内容はイメージです

*“ぱど”以外の媒体も含まれます。また一部媒体では紙面での掲載がない場合もあります

**すべてのクーポンが自動的に連携されるわけではありません

② 既存事業のデジタル化・会員化の促進

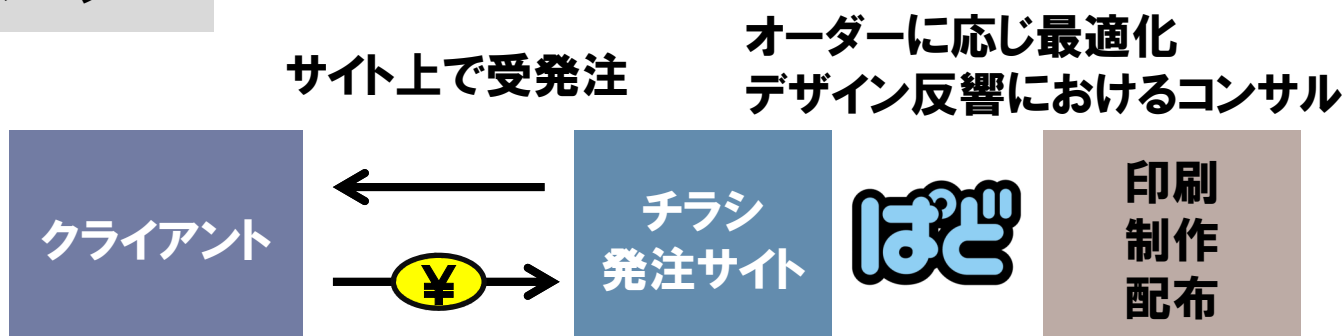


チラシ制作・印刷・配布の一気通貫商品の展開において、プロジェクトチームを発足、チラシオーダーシステム改修に向けて活動中

1. 事業背景

- ・ チラシ折込に関して、顧客ニーズは狭域でのターゲット配布が強くなっている
- ・ LPSにおける配布インフラ+デザイン工場における印刷・制作インフラを活用できる
- ・ オートメーション化することで、営業が極力介在しない、受注体制の効率化ができる

2. 事業イメージ



③ 狭域サポート事業の開始



狭域副職プラットフォームの開発において、プロジェクトチームを発足、不動産業務請負や管理設計における協業も視野に入れて活動中

1. 事業背景

- 各企業・店舗の人材不足により、地域住民による短時間業務にニーズは増加している
- LPSで配布員（全国約18,000人）として実働している地域住民を基盤として開始できる
- すでに不動産業務の領域において請負実績があり、需要が拡大傾向である

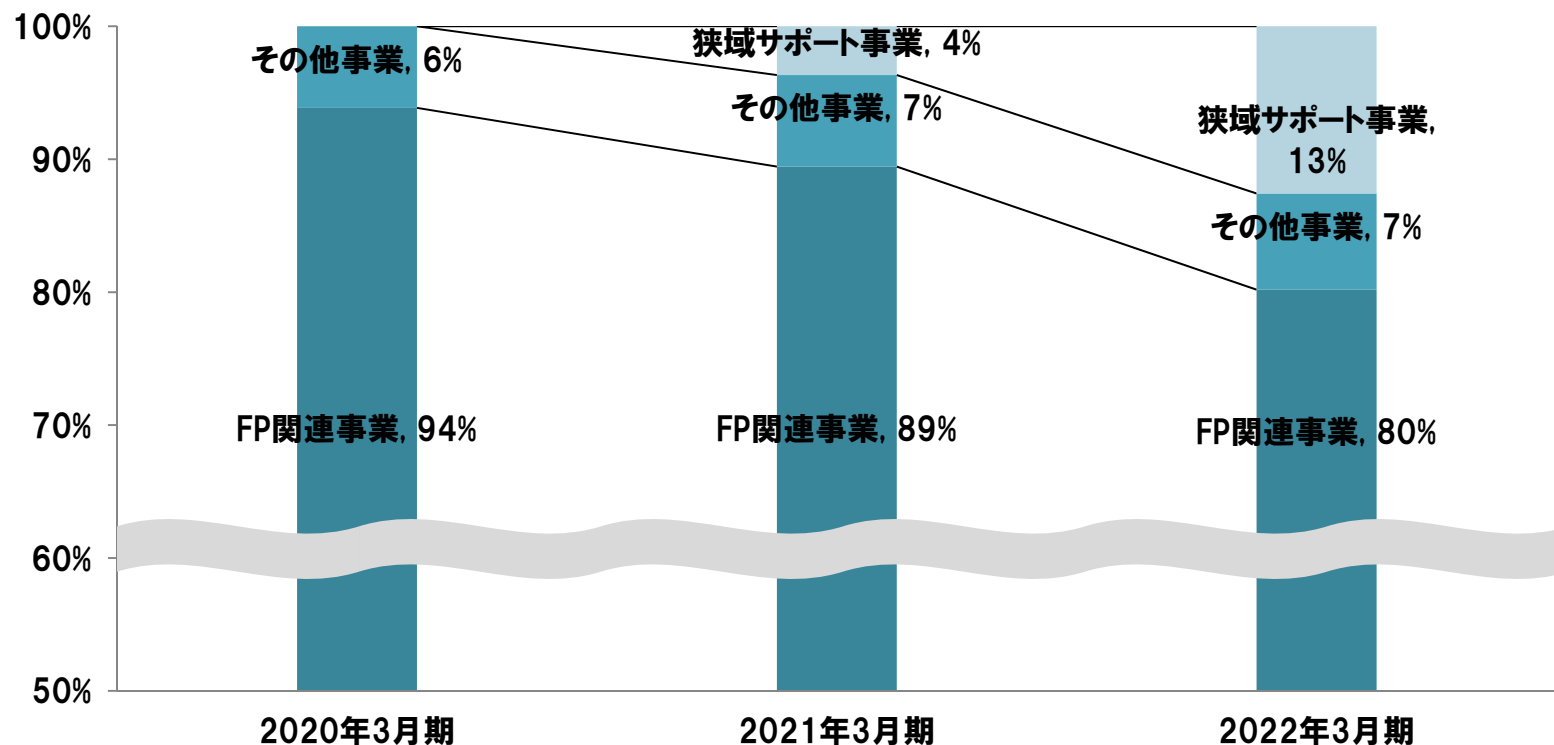
2. 事業イメージ



3ヶ年事業推移イメージ



従来のフリーペーパー事業を徐々に縮小し、新しい成長の柱となる新事業を展開し、新しい収益源を育成する



売上

120億円

120億円

120億円

営業利益率

1.0%

1.5%

3.0%

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、この資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。